

あと施工鉄骨接合の新モデル

レボグリップ

鋼球支圧接合

特長

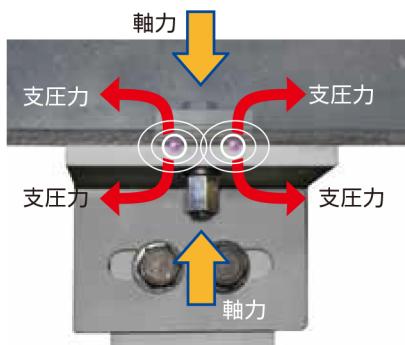
- 既設鉄骨との溶接が不要
- 梁との接合にボルト孔開けが不要
- 新しい横滑り抑制構造を考案



鋼球支圧接合による新しい発想の横滑り抑制技術

レボグリップとは？

既存の鉄骨構造やSRC造のH形鋼に設備架台やぶどう棚を固定する場合の固定元として使用します。その時取付け元のH形鋼に孔を開けたり、溶接をすることなく取付けができ、H形鋼と新たにつけるガセットプレートの間に鋼球を埋設することにより、横滑りに対しての抵抗力を発揮します。この鋼球はH形鋼フランジの外側のボルトとナットを電動工具で締め付けることにより自動的に埋設されます。鋼球による支圧抵抗力のため、H形鋼の塗装をはがすことなく施工が可能です。また昨年12月に日本建築センターの一般評定を取得しました。



// お問い合わせは…弊社各支店・営業所まで //